



# 緑小だより

令和4年5月31日（火）発行

学校教育目標

考える子ども  
豊かな子ども  
強い子ども

校長 内藤 奏子

今年の5月の連休は久しぶりに緊急事態宣言や、まん延防止措置等がなく、のびのびと過ごされたご家庭が多いのではないのでしょうか。子どものみならず大人も、日々の感染対策で目には見えない形でストレスを抱えていることと思います。ほんのひとときであっても連休中は、心身共に休むことができたのであれば幸いです。

5月21日の運動会は学年ごとに実施し、残念ながらひとつの学年は延期となりましたが、総練習では、どの学年の子どもたちも本番以上にきびきびとした行動で、真剣に競技練習に取り組み、毎回本番さながらの姿が見られました。コロナ禍で制限だらけの運動会ですが、子どもたちが思い切り走る姿がとても伸びやかで、練習を終えてグラウンドから戻り、児童玄関ですれ違ふとさわやかな笑顔を見せてくれるので、こちらも笑顔になりました。こうした様子を見る度に、のびのびした環境は大切だなあ、と、実感した次第です。この行事から、ひとつ成長した姿が見えました。

さて、4月の参観日を実施することができませんでした。5月下旬からの「保護者との教育懇談」では学校でのお子さんの様子をお伝えし、ご家庭との相互理解を図ることができる貴重な時間と捉えております。

ところで、保護者から見た子どもの困りごと、本人が抱える困りごと、担任から見て本人が困っているだろうと思うこと、それぞれ視点が違ふと、内容が違ふようです。学習面、生活面、感情面、友達関係でわけて整理すると、お互いに困り感を共有し理解することができます。さらに年齢によって困りごとにも変化するので、なおさら大人の視点で子どもの困り感を理解しようとせず、本人はどう思っているのか、本人の本音や本質を理解することが大切と言えます。つまり、子どもの思いと大人の思いは必ずしも一致しないということです。例えば幼児の時には不安がっていた子が、成長と共に感情の起伏が大きくなる、また、友達ができない子が成長と共に周りに合わせようとする、または、授業が退屈だといっていた子がやがては勉強が苦手なことに困り感をもつなど、成長と共に困りごとや悩みごとが変化します。本人が何に困っているのか、悩んでいるのか理解するためには、時間がかかるかもしれませんが、心を通わせる対話の積み重ねが大切です。

とはいえ、親は振り回されてばかり、と思うところもおありかもしれませんが、様々な視点から、お子さんのより良い成長を考える良い機会、と捉えていただき、これからのお子さんの成長を願う思いは、学校と家庭共に同じですので、限られた時間ではありますが、充実した懇談になりますよう、ご協力をお願いします。



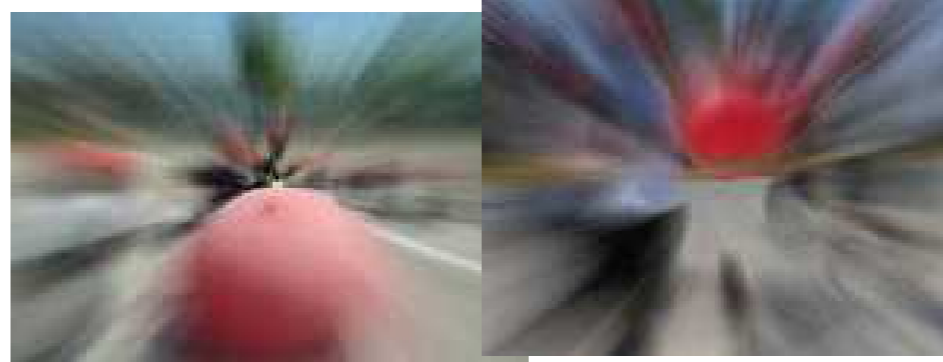
## 心を合わせた運動会

5月21日に運動会を行いました。天候にも恵まれ、子どもたちは元気いっぱいグラウンドを駆け抜けました。学年ごとに①徒競走②団体種目③選手リレーの3種目を行い、今までの練習の成果を発揮しようと本番では全力を尽くしていました。運動会後の反省には「最後まで一生懸命に頑張った。」「家族にかっこいいところを見せることができた。」「みんなで心を合わせて協力できた。」など子どもたちの達成感がよく伝わる感想がたくさんありました。

当日は、多くの保護者に参観、応援をいただきました。

感染症対策へのご協力もありがとうございました。子どもたちは皆さんの応援がとても励みになっていました。

延期になった学年は、6月9日に実施します。がんばりを期待しています。



## ～児童会総会～

5月9日に校内放送を使って児童会総会を行いました。児童会本部や各委員会の代表が、1年間の児童会の活動内容を提案した後、各学級からの提案に対する質問が行われ、委員会の代表が丁寧に回答していました。学校のリーダーとしての頼もしい姿を見ることができてとても嬉しく感じました。

学校生活をより楽しく充実したものにするために、今後も児童会の活躍に期待しています。



## 6月の学校行事

1	水	交通安全街頭指導 保護者との懇談⑤
2	木	保護者との懇談⑥
3	金	朝会 一斉下校訓練
7	火	避難訓練①
8	水	耳鼻科健診(2・5年)
10	金	人権教室(4年)
13	月	眼科検診(1・3・5年)13:00
14	火	遠足(1~4年) 弁当の日 宿泊学習説明会(5年)
16	木	遠足予備日 弁当の日
17	金	修学旅行結団式(6年)
20	月	修学旅行①(6年)
21	火	修学旅行②(6年)
22	水	6年回復休業日
23	木	自転車教室(3年)
27	月	諸費振替日
28	火	携帯安全教室(6年)
30	木	人権の花贈呈式(6年)



## 校外清掃を行いました

5月6日は、全学年での校外清掃でした。グラウンド、駐車場、らんらん小道など各学年がそれぞれの分担の場所で落ちているごみやペットボトルなどを拾い集めました。子どもたちは意欲満々で渡されたごみ袋の中にどんどん拾ったごみを入れ、すぐに袋が一杯になっていました。学校周辺がとてもきれいになり子どもたちもすがすがしい気持ちで清掃を終えることができました。

